

「人権の花」運動の実施校に感謝状

人権啓発活動堺・南大阪地域ネットワーク協議会主催の「人権の花」令和3年度実施校の古市南小学校とはびきの埴生学園に感謝状と記念品が贈呈されました。この運動は、チューリップの球根を協力し育てることで、感謝と生命の大切さを学び、より豊かな人権感覚を身につけてもらうことを目的としています。



▲古市南小学校

▲はびきの埴生学園

人権擁護委員退任の感謝状

人権擁護委員として、人権相談や人権啓発活動に2期6年間務められました、山本 良美さんが令和4年1月1日付けで人権擁護委員を退任されました。これまでの活動に感謝の意を表し、市長より感謝状を贈呈させていただきました。



▲山本 良美さん(中央)、尼丁会長(富田人権擁護委員協議会 会長(左))

「広報はびきの」題字を中学生がデザイン

3月17日(火)、「広報はびきの」表紙の題字デザインに選ばれた中学生6人が表敬訪問してくださいました。本市では、子どもを含めた多くの市民に親しまれる広報紙をめざし、題字デザインを、市立に通う中学校1・2年生、義務教育学校7・8年生を対象に募集しました。選考の結果、応募総数121点の中から、4月号から9月号までの6作品が選ばれました。



- | | |
|-------------------|------------------------|
| 【4月号】西口 舞さん(菅田中) | 【5月号】泉 歩未さん(峰塚中) |
| 【6月号】仲村 美樹さん(菅田中) | 【7月号】小早川 風花さん(高鷲南中) |
| 【8月号】辻 悠翔さん(峰塚中) | 【9月号】伊波 和美さん(はびきの埴生学園) |

絵本「はにわちゃんのおうちはどこ？」寄贈

3月23日(水)、四天王寺大学の「絵本プロジェクト」にて作成された「はにわちゃんのおうちはどこ？」の絵本を寄贈いただきました。作者で学生でもある、たかくら みきさんは、「小さなお子さんが羽曳野市の財産にもっと触れてもらえる、親しんでもらえるきっかけになれば」との思いを込めて制作されたそうです。寄贈いただいた絵本は、市内の公立、私立の保育園・幼稚園・こども園に配付させていただきます。



▲作者のたかくら みきさん(中央)

羽曳野ボーイズ、全国大会出場

3月23日(水)、第52回日本少年野球春季全国大会に羽曳野ボーイズが出場決定し、その報告に17人の選手と山田会長と共に市役所を訪問してくださいました。



花の寄贈と展示

3月28日(月)NPO法人花利メモリアル成就様より、お花を市に寄贈していただきました。チューリップやミモザといった春を告げる花々が庁舎の玄関を彩ってくれました。



自衛隊へ入隊

3月18日(金)、本市出身でこの春に自衛隊へ入隊される12人が市役所を訪問されました。コロナ禍での大規模接種や自然災害に対する救助、復旧活動など、自衛隊の支援は、大きな支えです。厳しい訓練を乗り越え、国民の安全安心を守るように期待しております。



百歳花束の贈呈

3月28日と31日に、市長が市内在住の百歳を迎えられる方々を訪問し、ご長寿をお祝いして花束を贈呈しました。これからもお元気で健康な日々をお過ごしになりますようお祈りいたします。※訪問の際は、手指消毒や感染防止対策を徹底しています。



▲杉田 ヒサさん



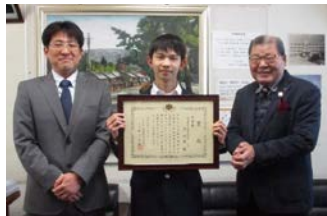
▲早川 敏子さん

第 68 回中学生人権作文コンテスト

大阪法務局および大阪府人権擁護委員連合会主催の「第68回中学生人権作文コンテスト」において、西田有紗さん（河原城中2年当時）が優秀賞を受賞され、市長へ報告に来ていただきました。また、沖叶真さん（峰塚中2年当時）、尾崎美月さん（河原城中2年当時）が富田林人権擁護委員協議会長賞を受賞されました。優秀賞を受賞された西田さんの作文「生きる意味」は、広報紙22ページに記載しております。



▲西田 有紗さん(中央)



▲沖 叶真さん(中央)

新しいボトルウォーターができました

羽曳野市水道局は、包括連携協定を結ぶ四天王寺大学と協働して、「羽曳野のおいしい水」のデザインを学生から募集し、3月17日(木)に教育学部教育学科の山本紗矢香さんの作品を最優秀作品として表彰しました。



「羽曳野のおいしい水」(容量 490ml)

ペットボトルから、アルミ缶に変更。長期保存を可能とし、SDGsのGoal 6、12、14、15、17を目標としています。原料は、石川浄水場の直接ろ過水で、賞味期限は10年。市のイベント等で配布し、水道水のおいしさや安全性などのPRに役立ちます。

八角部屋 表敬訪問

3月29日(火)、八角信芳親方(理事長)が八角部屋の北勝富士関、隠岐の海関、北の若関と共に市役所を訪れ、市長を表敬訪問しました。親方は、「久しぶりに羽曳野市役所に伺いました。」と現役時代の懐かしいお話もされていました。3月場所の千秋楽を迎えたばかりですが、親方はじめ3力士の気持ちは、すでに来場所に向けており、気迫十分のお話をさせていただきました。



北の若関 八角親方 北勝富士関 隠岐の海関

松田 颯選手に特別表彰

4月7日(木)、北京2022冬季オリンピック男子モーグルでご活躍された松田颯選手(しまだ病院 Snow Team 所属)が、しまだ病院の勝田院長と出場の報告に来られました。松田選手は「今大会は出場することが目標になってしまいましたが、次のオリンピックではメダル候補として出場したいと思います。」と宣言していただきました。果敢に挑戦されたその勇気と健闘を称えて、特別表彰式を執り行いました。



▲松田 颯選手(中央)、勝田院長(左)

卒業式で最高の返事を

まだ、寒さ厳しい2月。西浦東小学校では卒業式に向けて特別授業が行われました。講師に招かれたのは、河内ワイン専務の金銅真代さん。金銅さんは、本市の教育委員も努められ、ソムリエ、落語家などの顔を持たれる多才な人。この日は、文楽女流義太夫として、卒業式を控える6年生に義太夫節の発声法を伝授しました。

最初は緊張していた児童たちも、金銅さんのトークと発声法で徐々に気持ちもほぐれ、大きな声で返事を返していました。3月18日の卒業式には、発声法を学んだ児童たちの元気な「はい」と通る声が体育館に響いていました。

